

『たすけ合いの心』

先日、自転車で車道を走っていると、前から登校する小学生たちが歩いてきて、一人の子が車道に飛び出してきました。すぐ近くに車道を逆走してきた自転車がいて、

「危ない！」と大声を出しながら

ブレーキを掛けて停まりました。

男の子は「ごめんなさい」と謝りましたが、何か納得いかない顔をしていました。

「逆走してきた自転車だって悪いのに。」きつと、そんな気持ちだったのでしょうか。

またある女の子は、横断歩道の前で手を上げて待っていました。

いつもはなかなか停まってくれないのですが、一台の車が横断歩道の前で停車しました。

横断歩道は歩行者が優先なので、

「もっと早く停まってよ」と、車をにらみつける人もいますが、

その女の子は、停まってくれた車に深々と頭を下げ、

手を上げて道路を急いで渡りました。

歩行者も、自転車も、車も、

お互いがもう少しお互いのことを思いやれば、
悲しい交通事故はもっと減るはず。

安全で安心できる社会をつくるのは、

法律や規則ではなく、

人間一人ひとりの感謝と慎みの心。

「通してくれてありがとう」という

女の子の感謝の気持ちと、

「お先にどうぞ。気を付けてね」という
運転手の慎みの態度が、

陽気で幸せな世界をつくっていくのです。

天理教教会本部ホームページ

<https://www.tenrikyo.or.jp/>

